

日本建築学会 環境工学本委員会 音環境運営委員会 音響数値解析小委員会  
2005年度 第1回委員会 議事録

日時：2005年6月10日（金）12:00～15:00

場所：建築会館会議室

出席者（9名，敬称略）：

大鶴徹（主査），坂本慎一，佐久間哲哉（以上幹事），大嶋拓也，河井康人，富来礼次，堀之内吉成，安田洋介，横田考俊（以上委員）

書記：安田洋介

配布資料（8部）：

資料 1-1：第1回委員会議事次第（大鶴）

資料 1-2：昨年度第4回議事録（案）（安田）

資料 1-3：小委員会名簿（安田）

資料 1-4：小委員会設置申請書（大鶴）

資料 1-5：平成17年度科学研究費補助金交付申請書（大鶴）

資料 1-6：ベンチマーク問題に関する報告：B0-1T（立方体内部問題）（河井）

資料 1-7：新問題（コンベンションホール）について（坂本）

資料 1-8：ベンチマーク問題に関する報告：B1-1F（小ホール）（富来）

● 議事概要

0. 開会にあたって

- ・ 配布資料の確認.
- ・ 前回（昨年度第4回）議事録（資料1-2）の承認.
- ・ 名簿（資料1-3）の配布及び確認.

1. 新委員の承認

榎本オブザーバーを本年度の新委員として承認.

2. 本年度の計画

大鶴主査より，小委員会設置申請書（資料1-4）及び本年度科学研究費補助金交付申請書（資料1-5）に関する説明. 本年度の計画に関する議論は以下のとおり.

- ・ 共同研究に結びつくような方向を考えたい.
- ・ 昨年度同様，データの充実，HPの更新に力を入れると共に，シンポまたは講演会を開催して活動成果を公表する.
- ・ 研究に実務的な観点を取り入れ，実務者の方々の関心をひくようなものとしたい.

実務に携わっておられる委員の積極的な発言を期待する。

- ・ 実務の方と交流できるようなシンポ・講演会の開催を目指す（開催時期および内容は今後の委員会もしくはMLにて議論する）。
- ・ 生データだけでなく、指標値での比較も行いたい。HP上にサブページを設けて対応するなどが考えられる。

### 3. ベンチマーク問題に関する報告

新問題の提案（資料 1-7）、解析結果の報告（資料 1-6, 1-8）、及びそれに関する議論が行われた。

- ・ 過渡応答のための音源特性の規定については、河井委員を中心にMLにて検討する。（三角波や sin 波 1 波の時間波形、sin 波 1 波や Gauss 分布をした空間波形などが例として挙げられた）
- ・ Practical な内部問題の案として、東大生研の総合研究実験棟が提案され（資料 1-7）、了承された。
- ・ Prof. Marburg より、以前 PTB で行った 3rd RRT で扱った問題を提供してもよいとの申し出があった。本活動への組み込みについて今後検討する。
- ・ B1-1F（小ホール）に関して、FEM・BEM用メッシュをHP上に公開する。

### 4. その他

#### i) 確認事項

- ・ 小ホール解析に関連する研究発表論文を大脇氏に送付する。

#### ii) 次回（第2回）委員会日程（案）

日時：2005年9月26日（最有力候補）

場所：日本音響学会秋季研究発表会会場周辺（仙台）

以上。